

## 4 横浜みどりアップ計画市民推進会議

### (1) 横浜みどりアップ計画市民推進会議の概要

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の皆さんへの情報提供等をおこなうことを目的として、平成21年に設置され、平成24年からは条例設置の附属機関に位置付けられました。これまでに全体会議や各種部会の開催に加え、参加市民を公募したオープンフォーラムや現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価、提案を行ってきました。

みどりアップ計画を推進するうえで、市民推進会議のこのような取組は大きな役割を果たしており、平成26年度からのみどりアップ計画についても、継続して活動することとなりました。

【表】委員名簿（50音順・敬称略、平成27年5月1日時点）

氏名	所属部会	区分	備考
相川 健志	・「農を感じる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
相原 信行	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜市町内会連合会 顧問
東 みちよ	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会部会長	公募市民	
池田 信彦	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
池邊 このみ	・「緑をつくる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
大竹 斎子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
加茂 千津子	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
清水 靖枝	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	長屋門公園管理運営委員会 事務局長
進士 五十八	・座長	学識経験者	東京農業大学 名誉教授
関水 金作	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	追分・矢指市民の森愛護会 会長
蔦谷 栄一	・副座長 ・「農を感じる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	株式会社農林中金総合研究所 客員研究員
長瀬 里佳	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
野路 幸子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	元横浜市中心農業委員会委員
望月 正光	・「森を育む」施策を検討する部会部会長 ・広報・見える化部会委員	学識経験者	関東学院大学 経済学部 教授
矢沢 定則	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜農業協同組合 常務理事
若林 史郎	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜商工会議所 理事・企画広報部長

## (2) 活動実績

## ア 全体会議

全体会議、現地調査、部会での議論をもとに「横浜みどりアップ計画の評価・提案」（横浜みどりアップ計画市民推進会議平成26年度報告書）について検討しました。

	開催日	主な討議内容
第19回会議	6月24日	・市民推進会議市民委員選考について
第20回会議	7月9日	・横浜みどりアップ計画市民推進会議について ・横浜みどりアップ計画について ・平成26年度の取組について
第21回会議	平成27年 1月27日	・横浜みどりアップ計画の進捗状況について ・市民推進会議平成26年度報告書について

## イ 部会

## 《施策別専門部会》

横浜みどりアップ計画の事業分野ごとに、取組の内容と進捗状況について意見交換を行い、評価・提案について検討しました。

会議	開催日	主な討議内容
第7回「森を育む」施策を検討する部会	平成27年 2月24日	・「森を育む」施策の評価・提案について
第7回「農を感じる」施策を検討する部会	2月17日	・「農を感じる」施策の評価・提案について
第7回「緑をつくる」施策を検討する部会	3月5日	・「緑をつくる」施策の評価・提案について

## 《広報・見える化部会》

市民推進会議の広報誌「みどりアップQ」の編集を行いました。

市民の視点から、横浜みどりアップ計画と横浜みどり税を市民の皆さまへわかりやすく伝える方法について検討しました。

会議	開催日	主な討議内容
第20回	8月5日	・広報誌の構成と年間計画について ・見える化企画の方向性の検討について
第21回	9月18日	・みどりアップQ（第1号）について
第22回	12月4日	・みどりアップQ（第2号）について
第23回	平成27年 2月6日	・みどりアップQ（第3号）について ・市民推進会議平成26年度報告書について

## ウ 現地調査

横浜みどりアップ計画の取組を実感し、現場で活動する方々の声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

会議	開催日	主な討議内容
第12回	9月9日	<p>&lt;場所&gt; 戸塚区東俣野町の水田、名瀬町の樹林、柏尾町の保育園及び戸塚区総合庁舎の緑化</p> <p>&lt;内容&gt; 水田保全奨励事業、緑地保全制度、民間保育園の園庭緑化、公共施設の緑化を調査し、山林所有者の方、保育園の園長先生と質疑応答を行った後、意見交換を行いました。</p>
第13回	10月1日	<p>&lt;場所&gt; 追分・矢指市民の森、青葉区恩田町・田奈町の水田、都心臨海部の緑花、開港記念会館</p> <p>&lt;内容&gt; 森づくりガイドライン等を活用した維持管理事業、水田保全奨励事業、地域緑のまちづくりの現地を調査し、市民の森愛護会の方、水田の水利組合組合長、緑化された民間施設の管理者の方と質疑応答を行った後、開港記念会館で意見交換を行いました。</p>



【写真】現地調査の様子（農地）  
（戸塚区東俣野町）



【写真】現地調査の様子（樹林地）  
（旭区矢指町）



【写真】現地調査の様子（緑化）  
（西区みなとみらい）

## エ 広報誌の発行

「みどりアップQ」を3回発行しました。(平成26年11月、平成27年1月、3月発行)



【図】「みどりアップQ」の表紙

## オ 報告書の発行

横浜みどりアップ計画市民推進会議平成26年度報告書を発行しました。(平成27年6月)



【図】報告書の表紙

### (3) 評価と提案の概要

※「横浜みどりアップ計画の評価・提案（横浜みどりアップ計画市民推進会議  
平成 26 年度報告書）」より抜粋

計画全体として、柱ごとに数多くの事業が積極的に推進されています。

市民とともに次世代につなぐ森を育む取組は、全体的に目標どおり進んでいます。特に、みどりアップ計画の根幹である緑地保全制度による樹林地の指定は目標を達成し、樹林地の保全が進んでいることを評価します。

市民が身近に農を感じる場をつくる取組は、水田保全の取組などはほぼ目標に達していますが、直売所の整備や施設拡充の支援など、一部の事業では達成できていないものもあります。これらの取組については、内容の見直しも検討しつつ、目標達成に向け着実な推進が必要です。

市民が実感できる緑をつくる取組は、民有地における緑化の助成など、一部の事業では目標を達成していないものの、全体的にはほぼ目標を達成できています。

地域緑のまちづくりの推進により、その地域ならではの緑のまちづくりが進み、緑を通じた地域コミュニティの活性化や緑化活動への参画の広がりなど、市民の緑化意識の向上につながることを期待できます。

また、市民の理解を広げるための広報に力を入れています。その一方で、取組んでいる事業数が多いことから、それぞれの事業の効果が伝わりにくいという課題もあります。時には特徴的な内容に絞って広報するなど、みどりアップ計画やみどり税の効果を市民の皆さんに実感していただく工夫が必要です。

みどりアップ計画は、分野、事業が多岐にわたり、横の連携を取ることによって効果的に推進できる事業もあると思われるので、調整、連携の場を持つことを提案します。

なお、横浜のように農政も緑政もトータルでバランス良く進めていることは全国的に見て珍しく、1期目の計画を経て施策がこれだけ進んだということも、全国に発信していく時期でもあります。

内容や方法に必要な改良は加えながら、目標の達成を目指して、平成 27 年度も引き続き取組を推進することを期待します。

#### 4 横浜みどりアップ計画市民推進会議

